

重点教育目標：教師と子どもの笑顔と自信があふれる学校づくりの推進

みんな仲良く 元気よく いつもニコニコ東陽小！



# 学校だより

第8号

令和6年9月30日

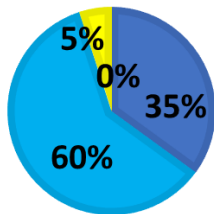
美幌町立東陽小学校 文責：校長 菅原浩人

◇◇ 令和6年度 前期学校評価について ② ◇◇

>> 教職員自己評価の結果 【7月】 <<

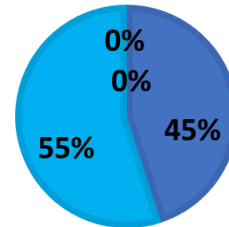
1 教育課程を適切に運用し、編成・実施・  
評価・改善を行っている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



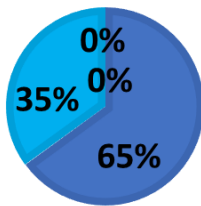
2 児童理解に努め、共感的・受容的な  
学年・学級風土づくりをしている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



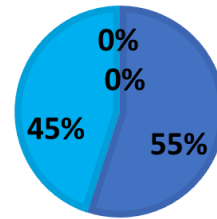
3 思いやりと感謝の気持ちをもち  
行動できるように指導している

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



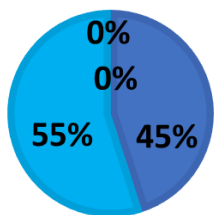
4 子どもたちの悩みや問題行動につい  
て、適時適切に対応している

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



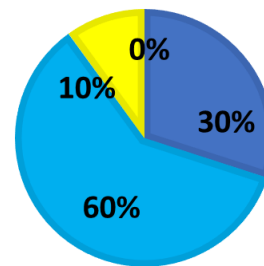
5 目的意識・相手意識をもたせ、  
学習指導・生活指導を行っている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



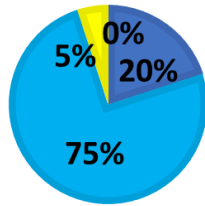
6 家庭での学習習慣の定着を図っている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



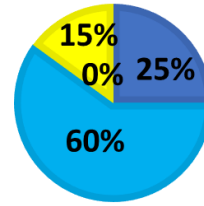
7 ICTを効果的に活用できる指導や  
授業展開を工夫している

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



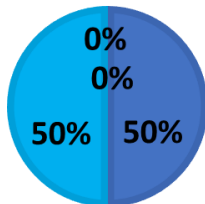
8 芸術や文学（読書活動含む）にふれ、感  
じたことを表現する取組を行っている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



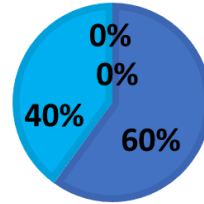
9 進んで挨拶ができるように  
指導している

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



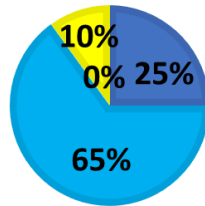
10 周りの人を大切にし、やさしい言動で  
接するように指導している

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



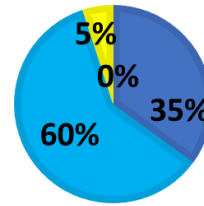
11 学習課題とまとめを意識した学習指導  
とノート指導をしている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



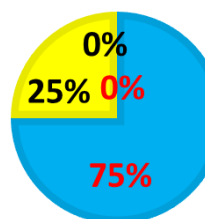
12 学ぶ意欲をもたせ継続できる授業展  
開を工夫している

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



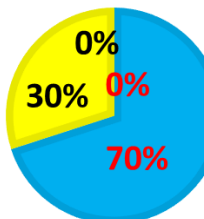
13 子どもは、自分の考えや文章を書く  
のが好き（書くことに積極的）である

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



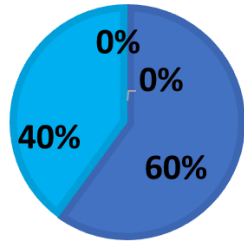
14 子どもには、根拠を示しながら文章  
で説明・表現する力がついてきている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



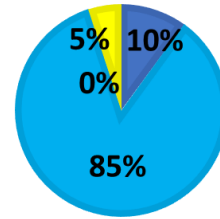
15 運動量のある体育授業や特別活動を行うなど、体力向上の取組をしている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



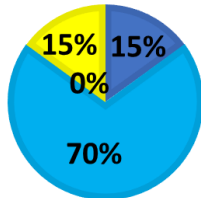
16 『北海道アクションプラン（第3期）』の目標を理解し、個人として・組織として学校における働き方改革を実践している

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



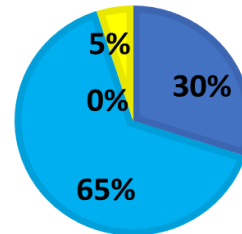
17 義務教育9年間を見直し、幼稚園・保育園・中学校との情報交流などを通して連携した取組や指導をしている

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



18 子どもの学習や生活の様子など、教育活動の様子を発信している

■Aとてもそう思う ■Bそう思う ■Cそう思わない ■Dぜんぜんそう思わない



## >> 前期学校評価の結果の考察 <<

○児童・保護者・教職員の三者ともに、ほとんどの評価項目において、目標値（肯定80%以上）を達成できていました。これも、保護者・地域の皆様のご理解とご協力があったことです。ありがとうございます。しかし、多くの項目には否定的な回答もあり、まだまだ改善が必要と反省しています。今後も否定的な回答が減り、肯定的な回答が向上できるよう、様々な教育活動を通して、子どもたちへの指導と支援を継続していきます。

●児童アンケート14に「学校が楽しくない」と回答した児童が9%いました。その理由（記述）は「勉強がきらい」「6時間授業が長い」等の授業に関係するものでした。楽しく・わかる授業の工夫を継続していきます。また、いじめや友達関係等の理由はありませんでしたが、引き続き子どもたちの様子や言動に気をつけていきます。

●児童と教職員の回答に共通して、「文章を書くこと」が苦手な児童が多いことがわかりました。国語の時間に限らず、授業の中でアナログとデジタル両方の利点を生かした様々な「書く活動」を取り入れ・工夫しながら、子どもたちへ二刀流の「書く力」を育てていくよう指導と支援を継続していきます。

○児童と保護者アンケートの「できるようになったこと」「成長したこと」にたくさん記述がありました。子どもたち一人一人は、着実に少しずつ自己肯定感と自己有用感を高めながら、重点教育目標の「自立と自律」に向けて頑張っています。保護者の皆様には引き続きバックアップをお願いいたします。

○今年度も「教育的価値や目的」、「働き方改革」等を考慮・検討し、学校行事や教育活動を見直し・改善を進めています。保護者・地域の皆様には、ご理解とご協力をいただけていることに、改めて感謝申し上げます。

# 全国学力・学習状況調査の結果について

学校における児童への学習指導の充実や学習習慣の改善に役立てることを目的として、第6学年児童を対象に「全国学力・学習状況調査」を4月18日に実施いたしました。過日その結果が送付されてまいりましたので、お知らせいたします。全国学力・学習状況調査の結果は表の通りでした。

学習のようすとしては

○国語では、『言葉の特徴や使い方に関する事項』の分野は、全道と比べてもよくできていた。

○算数では、『図形』『知識・技能』の分野は、全道と比べてもよくできていた。

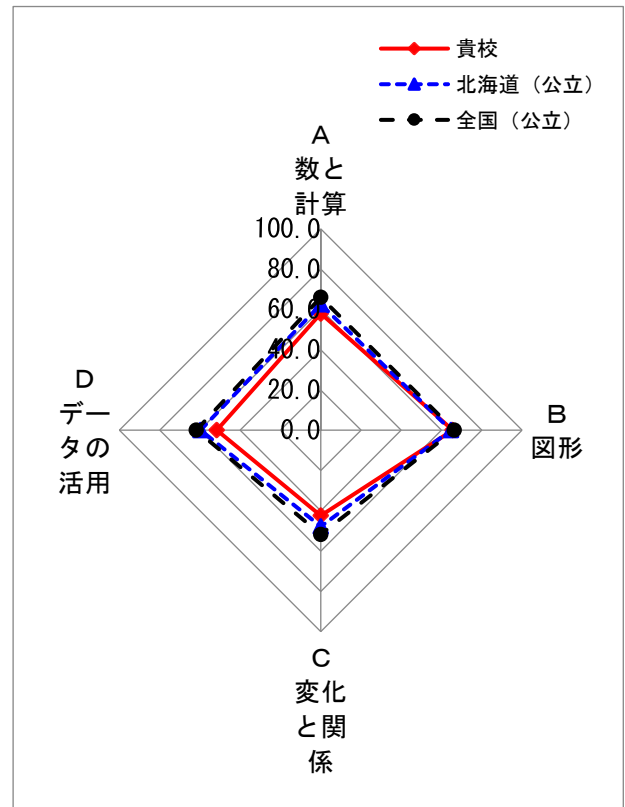
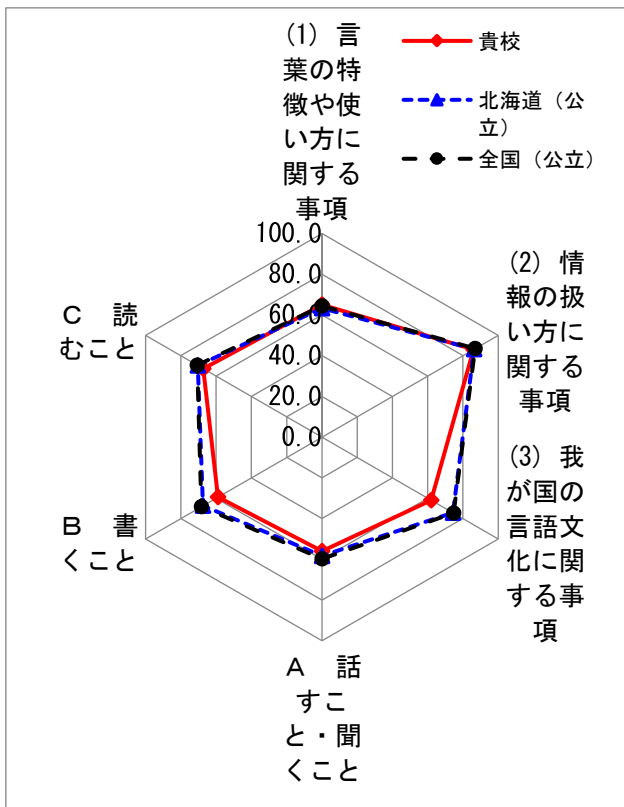
●国語では特に『書くこと』『我が国の言語文化に関する事項』、算数では特に『データの活用』の分野に課題が見られた。

という傾向がみられました。この結果を踏まえ授業の改善に努めてまいります。

今後とも、学校と家庭が力を合わせ、学力の向上に取り組んでまいります。

【国語】<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【算数】<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【各教科の平均正答率】

